

## 2009 年度日本液晶学会 第 3 回理事会

日時：2009 年 7 月 11 日（土）13:30～17:00

場所：日本液晶学会事務局（株）アドスリー内会議室

出席：檜山為次郎、池田富樹、水嶋繁光、折原 宏、栗原清二、斉藤伸一、花崎知則、古江広和、高西陽一、久保野敦史、田所利康、オブザーバー福田幹夫、諸星宗一（株）アドスリー事務局

### 審議事項

#### 総務委員会

1. 第 2 回理事会議事録の確認。（承認）
2. 学会賞の選考（承認）
  - (1) 本日学会賞の選考委員会が午前 10 時より、池田富樹副会長を中心に 11 名で選考委員会が開かれ、学会賞選考が行われ各賞が決定した。
  - (2) 論文賞について、選考の際に b 部門だけに 2 年間との規定があり、a 部門にないので選考の段階で ab 両部門を原則として、2 年間との規定に統一することにした。
3. 次期役員候補選考 について（承認）

役員選考委員会により決定した候補者を総会に諮ることとなった。
4. 来年度液晶討論会開催地（承認）

来年度の液晶討論会の開催地を九州大学に決定した。
5. 評議員就任依頼について（承認）

内田龍男前会長に評議員就任を依頼する
5. その他
  - (1) 内閣府「平成 21 年度チャレンジ・キャンペーン女子校生・学生の理工学への選択～」の共催については来年度以降検討する（承認）
  - (2) HP 公開用の議事録を作成し、公開する（承認）
  - (3) 日本液晶学会 FLC07 基金の運用規則 7 条の修正と、9 条の一部の HP 上の未修正部を改訂する（承認）

#### 財務委員会

1. 2010 年予算案の審議（承認）

若干の金額の修正

  - ・特記事項 「法人化準備金」項目の創設
2. 2009 年予算案の提示（修正了承）

#### 編集委員会

1. 次期編集委員について（承認）

次期編集委員に討論会時の編集委員会にオブザーバーとして参加してもらう  
昼食代（弁当代）を支出することが認められた。

#### 情報委員会

1. アドスリーへの Web 業務委託について（継続）

標記アドスリーとの打合せを 5 月 12 日に行い、業務内容の説明後、委託に係わる見積書を取った。情報担当理事として見積内容が妥当であると判断し、総務理事と会計担当理事に支出の是非について確認をお願いした。情報担当としては、ネット関連スキルを有する人材の確保が困難なため、Web 業務のアドスリーへの委託を提案する。尚、委託が認められた場合、今年度に関しては、第四四半期より委託を実施し、本年度中は作業内容の伝達も含めた準備期間とし、来年度より本格的に委託する方針である。

又将来委託が不可能になる事態が生じた場合に備えて、現在の Web システムの使用経験がある伊

達、森武、石川（敬称略）の3名に、非常時ボランティアとして作業に当たる内諾を得るよう検討中である。（承認）

## 会員委員会

### 1. 入退会者の承認

賛助会員の退会の連絡があった場合、事務局は会員担当に連絡する。また、退会の連絡があった場合は、正会員、学生会員とも慰留をお願いするようにしたい。（承認）

### 2. 会員名簿の整備計画についての提案（会員・情報担当合同提案）

Web 会員名簿の現状での問題点、会員情報の Web 掲載可否の確認、会員名簿の整備、実施時期などについて検討し Web 会員名簿の改定整理を手順踏んで行いたい。（承認）

## 研究委員会

### 1. 講演会学生当日参加費

参加者人数を増やすのが、昨今の事情から、なかなか難しいので、当日参加の学生の場合は、予稿集なしで無料で参加をさせる。但し予稿集を求める学生には¥500 円で販売する。受付でのトラブルがないように考える。また、Web 等についても混乱のないよう後で検討する。ポスターについても当日参加について検討する。新しい試みなので、実行してみたい。（承認）

## 報告事項

### 総務委員会

#### 1. メール審議

赤羽正志先生に評議員就任をお願いすることになった。（承認）

### 財務委員会

#### 1. サマースクールへの準備金支払い

#### 2. 会計監査終了報告

### 編集委員会

#### 1. 会誌 7 月号の進行状況報告と会誌 10 月号・1 月号の予定の報告

### 情報委員会

#### 1. 液晶学会誌バックナンバー電子データ化について

液晶学会誌バックナンバー電子データは、壮光舎より PDF が情報委員長と編集委員長に送付されている。しかし、「液晶」第 3 巻第 1 号以前の電子データが存在せず、現在入手努力中である。また、現在データ保管ルールが明確に定まっていない為、保管方法について検討する予定である（情報委員会、印刷会社、事務局の 3 カ所での保管を検討中）。

### 行事委員会

#### 1. 液晶学会討論会・講演会について

##### (1) 講演会について

- ・日時：2009 年 9 月 12 日（土）10:30～17:30
- ・場所：東京農工大学（小金井キャンパス）講義棟 L0026 講義室
- ・タイトル：フレキシブルディスプレイの将来（仮題）

##### (2) 討論会について

- ・日時：2009 年 9 月 13 日（日）～15 日（火）
- ・場所：東京農工大学（小金井キャンパス）
- ・発表申込期間 2009 年 5 月 20 日（水）～6 月 3 日（水）
- ・口頭 109 件（昨年 110 件）ポスター 110 件（昨年 138 件）
- ・虹彩賞エントリー 60 件（昨年 70 件）
- ・予稿入稿期間：2009 年 7 月 15 日（水）～29 日（水）
- ・企業セッション：招待 6 特別 1

- (3) 学会誌7月号に再告地、振込み用紙も綴じ込み。
- (4) 今後の予定
  - ・座長依頼
  - ・講演会予稿集作製
  - ・虹彩賞選考委員依頼・・・各フォーラムにお願い。
- (5) 評議員会、理事会、総会、編集委員会、フォーラム主査会議の日程の確認  
(評議員会、編集委員会2日目昼、総会2日目16:40～17:40、理事会三日目昼、フォーラム主査会議初日)

## 2. サマースクールについて

- (1) 講義内容が決定した。(8講義)
- (2) 事前参加者は、7月6日現在で49名。
- (3) 収入¥1,530,000 支出¥1,665,050 概算で、約△¥135,000の予定。
- (4) 下記の問題点や提案に関する意見交換を行った。
  - ・今年度は、景気の影響からか企業からの参加者が少なく、学生参加者を担当理事が募って開催に間に合わせたが、学生参加者が増えても赤字は解消されず、講義内容や講師のメンバーからもっと集まってもおかしくないと思われるが、景気の影響や、宣伝方法にも工夫が不足していた。今回、講演者の先生に了解を得て、電子メール予習ができるようにWeb公開を考えている。宣伝について、事前の宣伝が不足していた。次回はポスターなど掲示についても検討する必要がある。また、Webを早くから活用をするなどの提案があった。また、事前の宣伝がほとんどなく前もってWeb検索してもほとんど情報がなく事前の宣伝をもっと早く行う必要がある。また終了後に次回へのアプローチを工夫する必要がある。参加者数：景気の悪化により企業からの参加者減が予想される。今年は現状の方法で実施をしますが、今後は、定員、内容の吟味について検討する必要がある。

## 会員委員会

1. 確定会員数(2009.5.31時点)の報告。
2. 会費納入状況の報告。
3. FPD展覧の準備状況の報告(出展申込書提出)。

## 研究委員会

### 1. 講演会

講演会のプログラムが決定した。全部で6件である。テーマは、『フレシキブルディスプレイの将来』で、プログラム内容は別紙の通りである。講演会・討論会のプログラムは、学会ホームページにも掲載する。

日時：9月12日(土)10:30～17:30(9:30受付開始)

場所：東京農工大小金井キャンパス(東京)講義棟L0026講義室

定員200名

参加費(講演要旨集一部を含む)

事前申込み(7月15日～8月10日)

会員(賛助会員含む)：¥3,000円 非会員：¥4,000円、学生：¥500円

申込みは方法、<http://www.jlcs.jp/ekitou/koen.html>

### 2. 液晶ディスプレイ研究フォーラム講演会6月19日(金)報告

テーマ『未来を拓く高臨場感ディスプレイ』場所：東陽テクニカ本社・会議室(東京)で実施したが51名の参加であった。企業からの参加が昨今の事情から少なく、学生を集めて何とか実施したが、収支では、¥115,000程度の赤字となった。今後、参加募集の方法についても、再検討する必要がある。

### 3. その他のフォーラム活動

その他のフォーラムについては、物理・物性、化学・材料、およびソフトマター合同講演会を11月に予定しており、草津の方で開催の予定である。